

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

<b>主管課(担当名)</b>	総合文化会館	<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
<b>事務事業名</b>	飯田三郎資料展示室移転整備事業	<b>事業番号</b>	12908

## 1 施策体系

<b>施策体系との関連</b>	<b>施策区分</b>	3-9	歴史・芸術文化の振興
	<b>施策目標</b>	歴史や芸術文化などに親しみ歴史・文化資源を未来へ継承するまち	

## 2 事務事業の目的

<b>目的</b>	令和3年度及び4年度において、展示物の調査及び移転先の改修を行い、図書館内にある飯田三郎資料展示室について、総合文化会館内に新資料展示室を開設する。
<b>成果</b>	総合文化会館内に新資料展示室を移転させることにより、多くの市民に公開する。
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
<b>事務区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20px; height: 20px; background-color: #ccc;"></div> <div style="width: 80%; height: 80%; border: 1px solid #ccc;"></div> </div>						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
	(単位:千円)	R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
事業費と内訳	事業費			1,496	14,960		16,456	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			1,496	14,960	16,456	
		一般財源						
人員(人工)			0.19	0.19		0.38		
職員費(人員×7,704千円)			1,464	1,464		2,928		
総事業費			2,960	16,424		19,384		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	飯田三郎資料展示室の移転進捗率	0%	-	100%

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	新資料展示室に休憩コーナーを併設することにより、総合文化会館の来館者が展示室を気軽に利用し、展示資料への興味・知識を深めるとともに、憩いのスペース・交流の場となることが期待される。
-------------------	--

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 郷土出身の作曲家の資料展示室であり、市民から整備を期待されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 現資料展示室・新資料展示室ともに市の施設であり、教育委員会が管理・運営している。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 移転先が確保できたことにより、早期の整備が求められている。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 業務の内容から、適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 全ての市民が利用できることから、公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 資料展示室が移転先に新しく整備されることにより、利用者が増加することが期待される。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 速やかに事業推進を図るとともに、休憩コーナー等を併設するなどの調査・研究を進められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 展示資料への興味・知識を深められるよう整備するとともに、市民の交流の場となるよう調査・研究を進める。